

..... 編集後記

◆ 情報化社会といわれるようになって久しくなります。情報はすばらしいものです。情報は知識であり、財産です。その情報があることで先のわからないものを特定・限定することができ、謎の解明や研究が進展し、生活の利便性が向上します。特売品を知っていれば安く買い物ができ、電車の発着時間を知っていれば待ち時間が少なくなります。一つの情報信号の有無で事故が未然に避けることもできます。一方で、情報は悪用すると危険な武器にもなります。昔から戦いでは情報の多い方が有利に戦ってきました。いずれにせよ、情報というものは重要なもので、人類の平和のために利用されるべきでしょう。

◆ また、情報はエネルギーと同等かもしれません。エントロピーは、情報量や乱雑性の指標でもあるので、知らないでいる大きな乱雑さの高いエントロピーを、状態を知ることで秩序としてのエントロピーを下げているのでしょう。情報を得るために使われたエネルギーが姿を変えて宿っており、貴重な資源ともいえます。地質に関する情報も、他と同じようにある意味の資源であり、財産です。これらを整理して、人類の幸福に活用する必要があります。

◆ 今月号は、本年3月号に掲載した特集「ボーリングデータの整備・公開がもたらす新たな社会」の続編となる特集記事12編と一般記事3編、お知らせ1編から構成しています。今回の特集記事は、情報の価値と重要性を再認識させてくれることでしょう。

◆ はじめに、協議会会長の栗本氏が、地質地盤情報は公共財という理念の下で活動してきた協議会の提言や一連の活動を報告して下さっています。続いて、協議会での意見交換会での講演から、地元北海道に

おける地質地盤情報の整備の現状と課題(大津氏ほか)や関西圏のKG-NETの体制下で進められている活動(北田氏)、奈良・近江盆地の地盤データベースの作成(小松原氏ほか)などについて、具体例を挙げながら解説されています。

◆ 港湾(田中氏)や鉄道の建設・維持管理(太田氏)においても、地質地盤情報の取得や利活用が行われており、それらの現状と課題が紹介されています。

◆ ちょっと変わったところでは、地震保険の運用(山口氏)や自然災害のリスク評価(広中氏)に地質地盤情報が利用されていることなどは興味深いことです。また、地質相談業務からみた地質情報の需要の現状(角井・酒井両氏)や、水循環の可視化には三次元地質情報が必要であること(西岡氏)などが、実例を示して紹介されています。

◆ 特集の最後では、渡辺・平野両氏は地質地盤情報のデータサービスを紹介し、脇坂氏は土木地質におけるリスクマネジメントの紹介と地質調査・地質学的解釈・地質情報の重要性を力説しています。

◆ 当センターでは全国の地質図幅整備を目指していますが、その一つ「徳之島」が昨年刊行されました。その詳細を斎藤氏ほかで紹介しています。また、辻野氏は動植物や化石などの学名に良く表記されるラテン語の仮名書きについての興味深い話題提供をして下さいました。続いて、斎藤・國本両氏による地質図を利用した手提げ袋の話題です。最後は統合版地質文献データベース公開のお知らせです。

◆ 先月日本人のノーベル賞受賞が報道され、社会が活気づきました。地質学分野のノーベル賞はないですが、研究が活気づくことを期待します。(金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 渉

委員：重松紀生・杉原光彦・中嶋 健・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第675号	2010年	11月号
	定価¥785(本体価格¥748)	〒実費	
2010年11月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8	〒102-0073	
	Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2010 Geological Survey of Japan